



下山小だより

身延町立下山小学校
Tel 0556-62-5107
Fax 0556-62-5388

下山小の合い言葉 あいさつ いのち うんどう えがお おもいやり

みんなで学び仲を深めた修学旅行

10月12日（水）から14日（金）に町内3校の6年生が参加し、身延町合同修学旅行が実施されました。今年度は、感染対策をしっかりとしながら、東京・神奈川方面へ行ってきました。

1日目の目的地は鎌倉です。高徳院では、大仏の大きさに驚きつつも細部まで細かに観察していました。鶴岡八幡宮では過去の出来事の説明を聞きながら、その歴史の流れに思いを馳せていました。円覚寺では座禅体験を行いました。一人一人が静かに自分と向き合う、充実した時間を過ごしました。

2日目は、まず、JFE 東日本製鉄所を見学しました。製鉄の仕組みを知り、間近で見た製鉄の現場の迫力に圧倒されました。国立科学博物館では、計画した見学場所をグループで協力して回り、本物に触れ、学びを深めていました。国会議事堂では、議員さんや担当の方の説明をしっかりと聞き、日本の政治に興味を持ちました。東京タワーでは夜景の美しさに感動し、友達と写真を撮り、楽しむことができました。

3日目は、第五福竜丸の見学です。真剣に説明を聞き、平和への思いを強くしたようです。そしてお待ちかねの八景島シーパラダイス。どのグループもコミュニケーションをとりながら、みんなが楽しむことを心がけ、笑顔で過ごしていました。

どの見学地でも目的を自覚し、主体的に学び行動することができました。3日間、感謝の気持ちを忘れずに、周りの人々に思いやりの気持ちで接し、協力して素晴らしい旅行をつくり上げました。修学旅行のテーマ【みんなで「学び」と「仲」を深める3日間】は達成できたと思います。これからも各校のリーダーとして力を発揮してほしいと思います。

これまで、様々なご支援をいただいた、保護者の皆様、町長様をはじめ役場の皆様、支えていただいた身延町の皆様に感謝いたします。ありがとうございました。



5年生 花とふれあう花育体験教室 10月3日

5年生がフラワーアレンジメントの体験を行いました。思い思いに花を組み合わせ、きれいなアレンジメントをつくり上げました。

一人一人のセンスが光り、とても素敵な作品が仕上がりました。



4年生 信玄堤・科学館 10月25日

信玄堤では講師の方の説明を聞き、昔の人々の苦勞や工夫について学びました。科学館では、プラネタリウムや工作、展示物の体験を通して、様々な不思議に触れ、科学に興味を持ち、学びを深めていました。



3年生 枝豆収穫 10月20日

あけぼの大豆も収穫の時期を迎えました。とても大きく、たくさんの実をつけたあけぼの大豆に子供たちは大喜び。みんな笑顔で一生懸命収穫しました。小林さんを中心に日々手入れをしていただき、ありがとうございました。教室に戻り、他の枝豆と比べたり、試食したりして、あらためてあけぼの大豆の素晴らしさを実感したようでした。



1年生 森林総合研究所 10月21日

森の中を探検し、秋をたくさん見つけることができました。また、どんぐりや枝や葉を使って壁掛けの作品をつくりました。板に貼るのは難しかったけれど、みんな細かいところまでがんばって、芸術的な作品ができあがりしました。



教育実習

今年度3名の教育実習生を迎えました。9/20から3年生に川口紫音先生、5年生に今村拓海先生が所属し実習を行いました。10/17から養護実習として佐野瞳先生が実習を行っています。本校の卒業生として、真面目に丁寧に子供たちに接してくれました。将来、教員としてがんばってほしいと思います。

2年生 クラフトパーク 10月20日

とてもよい天気の中で、みんなで元気に楽しく体を動かし、秋を感じることができました。切り絵にも挑戦しました。カッターを使うのは難しかったけれど、丁寧にすばらしい作品を仕上げていました。



校外学習から帰ってきた子供たちは、とてもすがすがしく、充実した表情をしています。そして口々に感じたことを話してくれます。良い学びをしたんだなといつも感じます。

体験活動の教育的意義として次のように示されています。（中央教育審議会答申より）

【子どもたちは、具体的な体験や事物との関わりをよりどころとして、感動したり、驚いたりしながら、「なぜ、どうして」と考えを深める中で、実際の生活や社会、自然の在り方を学んでいく。そして、そこで得た知識や考え方を基に、実生活の様々な課題に取り組むことを通じて、自らを高め、よりよい生活を創り出していくことができるのである。このように、体験は、子どもたちの成長の糧であり、[生きる力]をはぐくむ基礎となっているのである。】

これからも、学校、地域、家庭において、様々な形での体験活動を通して、しっかり考え、生きる力をはぐくんでいってほしいと思います。

文責 校長 新田 修